

決意を新たに 今年もがんばろう！

あけましておめでとうございます。

今年も新基地建設阻止闘争へのご支援をお願いいたします。

沖縄県民にとって 2020 年の重要な課題は、辺野古新基地建設阻止であるということはいふまでもありません。県民は常に、「命どう宝」の精神で、戦争のにおいにはすべてこの言葉を基本に判断し行動してきたといえます。1995 年の米兵による少女レイプ事件では 10 万にを超える人々が結集して抗議し、沖縄の米軍基地の即時撤去を求めた行動があり、その延長に辺野古新基地建設阻止への闘いが継続されています。2016 年には元米海兵隊員による女性レイプ殺人事件も起き、10 万人の県民が集会に参加し、米海兵隊の撤退を強く求めてきました。

最近の重大事故・事件も忘れてはなりません。沖縄大へり墜落事故（2004 年 8 月）、名護市安部の海岸にオスプレイ墜落（2016 年 12 月）、東村高江の民間地にへり不時着炎上（2017 年 10 月）、普天間第 2 小の校庭にへりの窓枠落下（2017 年 12 月）、緑ヶ丘保育園にへりの部品落下もありました。「学校や保育園の上空は飛ばないで」という小学生や園児たちの悲痛なまでの訴えは、県民に大きな反響を呼び、あらためて米軍基地がある限り子どもたちのいのちを守ることができないと県民は痛切に感じています。

2020 年あらためて、事故から県民の命を守るためにも米軍基地撤去を強く求めていくことになるだろうと思います。

2019 年沖縄 10 大ニュース発表

2019 年年末恒例の沖縄 10 大ニュースが発表されました。いうまでもなく第 1 位は首里城全焼です。首里城が猛火に包まれている様子は言葉にできないほどショックでした。

第 2 位が県民投票の結果です。新基地建設反対が 71% を越えました。県民の民意が明確になったのにもかかわらず安倍政権は無視し続けています。秋田県のイージス・アショアでは民意が反対であるから建設がストップしたとの報道がありました。米軍基地が集中し、事故も多発する沖縄県で、県民の命を粗末にしつづける政治に対して怒りを込めて、安倍政権に抗議の声を上げています。

第 3 位は、辺野古土砂投入が新たな場所で投入がはじまったということです。2018 年 12 月の土砂投入から現時点での投入量は、計画総量の 1% と土木の専門家が説明しています。県民が抗議行動に毎日参加し、阻止行動を持続してきた成果だと言われています。「あきらめない」という決意が実証されています。

第 7 位には米軍絡みの事件・事故の続発がとりあげられています。

4 月北谷町で女性が米兵に殺された事件。6 月浦添市立浦西中学校の校庭に米軍 CH53E 大型輸送へりの部品落下。10 月には MC130J 特殊作戦機から重さ 3.6 キロの部品がなくなっていることが判明しました。12 月には金武町伊芸区の民間地に照明弾 3 個が落下し、民家や高速道路の近くに落下したことから、重大事故につながるとして住民は怒りをあらわにしています。

第 9 位に、国政選挙でオール沖縄推薦の候補者が完全勝利です。4 月の衆議院 3 区補選、7 月の参議院選での勝利です。今回の選挙で民党候補者は「辺野古基地建設賛成」を公約にして臨んだ選挙で負けました。このように、県民投票、国政選挙の民意を金と権力で押しつぶそうと沖縄振興特定事業推進費を 25 億円から今年度は 55 億円に倍増、一括交付金を 80 億減額と安倍政権は露骨な政治を沖縄で行っています。

今年も安倍政権との対決が続きます。「勝つまであきらめない」と自信をもって闘いたいと思います。